

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年10月18日（金）

### 2 確認箇所

既設多核種除去設備（図1）

### 3 確認項目

既設多核種除去設備の現況

### 4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では「増設多核種除去設備配管洗浄作業における身体汚染(令和5年10月)」や「高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい(令和6年2月)」など、汚染水処理設備に関するトラブルが連続して発生している。

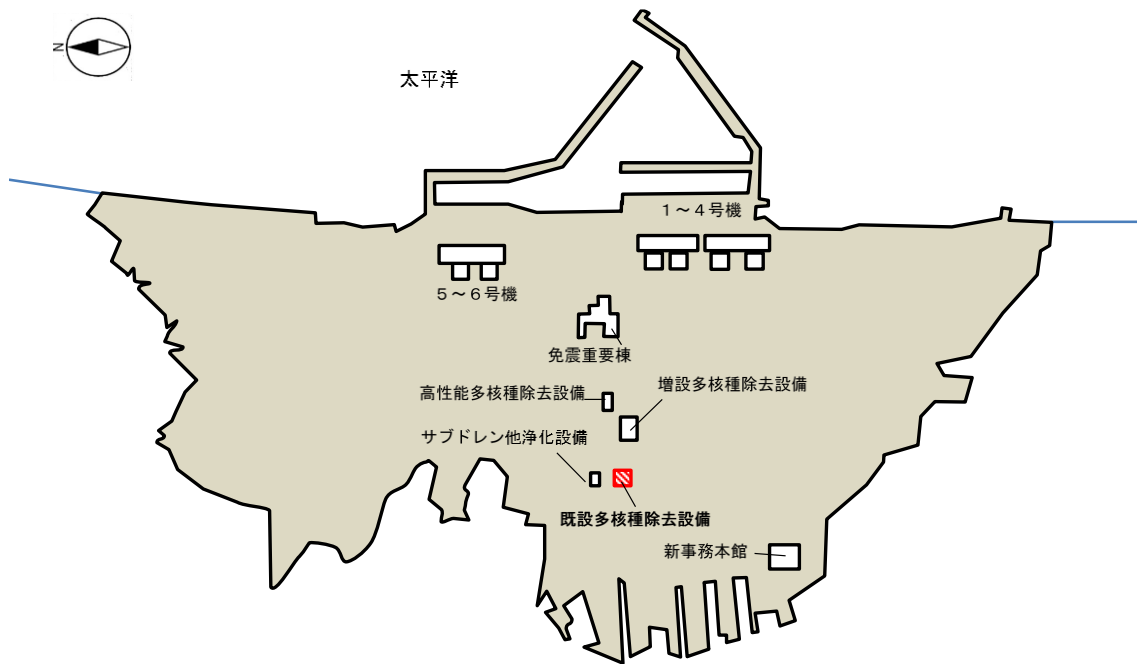
そのため、汚染水処理設備の運転状況や設備機器のメンテナンス状況を適宜確認している。本日は、汚染水処理設備のうち、既設多核種除去設備（以下「既設ALPS」という。）を確認した。（前回確認：令和6年10月16日）

なお、確認時における既設ALPSの運転状態は次のとおりであった。

A系：停止中 B系：停止中 C系：停止中

- ・既設ALPSでは15日からクロスフローフィルター※の洗浄作業が実施されており、現場確認時には、洗浄作業後の復旧作業（弁操作など）が行われていた。（写真1）
- ・クロスフローフィルターの復旧作業は、東京電力社員立ち合いのもとで実施されていた。
- ・上記作業とは別に、吸着塔に設置された計装品（圧力計）の校正作業が行われていた。（写真2）
- ・建屋内を確認した範囲では、配管や設備からの漏えいや水たまり等の異常は認められなかった。

※ クロスフローフィルター：後段の吸着塔における放射性物質の吸着を阻害する物質を除去するために用いられているフィルターで、処理する水をフィルターに対して並行に流すことにより、除去する物質がフィルターに堆積する現象を抑制しながらろ過を行うフィルターのこと。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
クロスフローフィルターの復旧作業の状況  
※クロスフローフィルターは被ばくを低減するために遮蔽シートで覆われている。



(写真2-1)  
吸着塔の計装品校正作業の状況



(写真 2 - 2)

吸着塔の設置状況

## 5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。